



# Cisco Prime Network Registrar ユーザーインターフェイス

Cisco Prime Network Registrar は、リージョンおよびローカル Web UI とリージョンおよびローカル CLI を提供して、CDNS、DNS、DHCP、TFTP、および CCM サーバーを管理します。

- ローカル クラスタ サーバーにアクセスするためのリージョン クラスタの **WEB UI - リージョン クラスタ Web UI (15 ページ)** を参照してください。
- ローカル クラスタの **WEB UI - ローカル クラスタ Web UI (10 ページ)** を参照してください。
- ローカル クラスタの **CLI** : インストール /docs ディレクトリの **CLIContent.html** ファイルを開きます (**コマンドライン インターフェイス (16 ページ)** を参照)。
- **REST API** : **REST API (18 ページ)** を参照してください。
- これらのインターフェイスをサポートするインフラストラクチャを提供する **CCM サーバー - 中央構成管理サーバー** を参照してください。

この章では、Cisco Prime Network Registrar ユーザー インターフェイスと、CCM サーバーが提供するサービスについて説明します。Cisco Prime Network Registrar サーバーの設定を開始する前に、この章を読んで、各ユーザーインターフェイス機能について十分に理解しておいてください。

- **管理コンポーネント (2 ページ)**
- **Web ベースのユーザー インターフェイスの概要 (3 ページ)**
- **ローカル クラスタ Web UI (10 ページ)**
- **リージョン クラスタ Web UI (15 ページ)**
- **コマンドライン インターフェイス (16 ページ)**
- **REST API (18 ページ)**
- **Prime Network Registrar でのグローバル検索 (18 ページ)**

## 管理コンポーネント

Cisco Prime Network Registrar には、次の 2 つの管理コンポーネントが含まれています。

- 以下で構成されるリージョン コンポーネント。
  - Web UI
  - CLI
  - CCM サーバー
  - 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) サーバー
- 次のもので構成されるローカル コンポーネント。
  - Web UI
  - CLI
  - CCM サーバー
  - 権威あるドメイン ネーム システム (DNS) サーバー
  - キャッシング/再帰ドメイン ネーム システム (CDNS) サーバー
  - ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) サーバー
  - トリビアル ファイル 転送 プロトコル (TFTP) サーバー
  - SNMP サーバー
  - ローカルアドレス空間、ゾーン、スコープ、DHCPv6 プレフィックスとリンク、およびユーザーの管理



(注) Cisco Prime Network Registrar には、ハイブリッド DNS 機能が含まれています。この機能を使用すると、2 つの独立した仮想マシンまたは物理マシンを使用せずに、キャッシング DNS サーバーと権威 DNS サーバーの両方を同じオペレーティング システムで実行できます。ただし、小規模な展開の場合にのみ、ハイブリッドモードを推奨します。大規模な展開では、キャッシング DNS と権威 DN を別々の物理マシンまたは VM に分離することを推奨します。

ライセンス管理は、Cisco Prime Network Registrar がインストールされるときに、リージョン クラスタから実行されます。まず、リージョンサーバーをインストールし、リージョンサーバーにすべてのライセンスをロードする必要があります。ローカル クラスタをインストールすると、ライセンスを取得するためにリージョンに登録されます。

リージョン CCM サーバーは、DHCP アドレス空間と DNS ゾーンの集約ビューを使用して、ローカル クラスタの一元管理を提供します。これにより、分散アドレス空間、ゾーン、スコープ、DHCPv6 プレフィックスとリンク、およびユーザーの管理が可能になります。

ローカル CCM サーバーは、ローカルアドレス空間、ゾーン、スコープ、DHCPv6 プレフィックスとリンク、およびユーザーの管理を提供します。

この章の残りの部分では、TFTP および SNMP プロトコルについて説明します。CCM サーバー、Web UI、および CLI については、[Cisco Prime Network Registrar ユーザー インターフェイス \(1 ページ\)](#) で説明しています。DNS、CDNS、および DHCP サーバーについては、それぞれのセクションで説明します。

## Web ベースのユーザー インターフェイスの概要

Web UI は、ユーザーのロールと制約により、構成データへのきめ細かいアクセスを提供します。UI を使用すると、一般的な機能に簡単にアクセスできます。Web UI の詳細については、以降の項で説明します。

### サポートされる Web ブラウザ

Web UI は Microsoft Edge 89、Mozilla Firefox 86、および Google Chrome 89 でテストされています。Internet Explorer はサポートされていません。

### アクセス セキュリティ

Cisco Prime Network Registrar のインストールでは、Web UI へのセキュアなクライアントアクセスをサポートするように HTTPS を設定することができます。HTTPS ポート番号を指定し、その時点でキーストアを指定する必要があります。HTTPS セキュリティが有効な場合、Web UI ログインページには次のように示されます。「ページは SSL です。<sup>1</sup>安全です。(Page is SSL Secure.)」



(注) キーストア パスワードの一部としてドル記号 (\$) を使用しないでください。

### Web UI へのログイン

Cisco Prime Network Registrar のローカルクラスタまたはリージョンクラスタの Web UI にログインするには、HTTPS セキュアログインを使用します。Cisco Prime Network Registrar をインストールした後、サポートされている Web ブラウザの 1 つを開き、ブラウザのアドレスにログイン場所の URL を指定します。ログインは便利であり、いくつかのメモリ機能を提供して、ログイン速度を高めます。

次のようにセキュアログインを使用してログインできます。

<sup>1</sup> 本製品には OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています (<http://www.openssl.org/>)。

Web ブラウザを開いて Web サイトにアクセスします。たとえば、インストール時にデフォルトのポートが使用された場合、URL は、ローカル クラスタ Web UI については **https://**ホスト名:**8443** になり、リージョン クラスタ Web UI については **https://**ホスト名:**8453** になります。



(注) 最初にリージョン Web UI を開き、必要なサービスのライセンスを追加します。

初めてログインした場合は、[スーパーユーザー管理者の追加 (Add Superuser Administrator)] ページが開きます。スーパーユーザーの管理者名とパスワードを入力し、[追加 (Add)] ボタンをクリックします。

Cisco Prime Network Registrar では、スマートライセンシングがデフォルトで有効になっています。アラートウィンドウの [スマートライセンシングの設定 (Configure Smart Licensing)] リンクをクリックして、[スマートソフトウェア ライセンシング (Smart Software Licensing)] ページを開き、スマートライセンシングをセットアップします。詳細については、[シスコスマートライセンスの使用](#)を参照してください。従来のライセンスを使用する場合は、最初にスマートライセンシングを無効にする必要があります ([スマートソフトウェアライセンスの無効化](#)を参照)。次に、ライセンス情報を次のように入力します。

[従来のライセンスを使用 (Use Traditional Licensing)] をクリックし、[新規製品のインストール (New Product Installation)] ページで [参照 (Browse)] をクリックし、有効なライセンスを追加します。ライセンス キーが受け入れ可能な場合は、Cisco Prime Network Registrar のログイン ページが表示されます。



(注) ライセンスは、リージョン サーバーにのみ追加できます。必要なライセンス サービスを実行するには、インストール時にローカルをリージョンに登録する必要があります。

ローカル サーバーで、リージョンサーバーの IP アドレスとポート番号を確認し、最初のログイン時に実行するサービスも確認します。[登録 (Register)] をクリックして、登録を確認します。リージョンサーバーが必要なライセンスで設定されている場合は、ログインページが表示されます。

Web UI にログインするために最初のログイン時に作成したスーパーユーザーのユーザー名とパスワードを入力します。パスワードは大文字と小文字が区別されます ([パスワードの管理](#)を参照)。



(注) ログイン用のデフォルトのユーザー名またはパスワードはありません。

ブラウザのセットアップ方法によっては、ユーザー名を設定する際に、アカウント名を省略したり、ドロップダウンリストから選択したりすることができます。

ログインするには、[ログイン (Log In)] をクリックします。

デフォルトでは、[設定の要約 (Configuration Summary)] ページが表示され、クラスタの設定の詳細の要約が示されます。リージョンクラスタの [設定の要約 (Configuration Summary)]

ページには、設定されているフェールオーバーペアとゾーン分散が表示され、基盤となるクラスタまたはHAのペアも表示できます。ネットワークデータをチャートまたは表形式で表示するには、チャートの[可視化表示 (show Visualization) ]アイコン (📊) または[テーブルビューを表示 (show Table View) ]アイコン (📄) などのグラフィカルユーティリティを使用します。

## 複数のユーザー

Cisco Prime Network Registrar ユーザー インターフェイスは、複数の同時ユーザーをサポートします。2人のユーザーが同じオブジェクトレコードまたはデータにアクセスしようとする、2番目のユーザーに対して**変更されたオブジェクトエラー**が発生します。ユーザーデータの編集集中にこのエラーが表示された場合は、次の手順を実行します。

- **In the web UI** - 編集をキャンセルし、リストを更新します。最初のユーザーによって行われた変更がリストに反映されます。必要に応じて、編集をやり直します。
- **In the CLI - session cache refresh** コマンドを使用して、現在の編集をクリアしてから、変更を表示し、さらに編集します。他のユーザーの変更後でも必要と思われる場合は、変更を加えます。

## パスワードの変更

Web UI ページでパスワードを編集するときには、8つのドットの文字列として表示されます。実際のパスワードの値は、Web ブラウザには送信されません。したがって、パスワードを変更すると、フィールドは自動的にクリアされます。新しいパスワードの値を、必要に応じて完全に入力する必要があります。



(注) パスワードの長さは 255 文字以下でなければなりません。

ローカルクラスタおよびリージョンクラスタでの管理者パスワードの変更の詳細については、[パスワードの管理](#) を参照してください。

## Web UI のナビゲート

Web UI は、必要な機能と、管理タスクの一部として実行しているスレッドに基づいて、ページの階層を提供します。ページ階層を使用すると、簡単に失われることがなくなります。



**注意** ブラウザの[戻る (Back) ]ボタンは使用しないでください。前のページに戻るには、必ずナビゲーションメニューを使用するか、ページの[キャンセル (Cancel) ]ボタンを使用してください。ブラウザの[戻る (Back) ]ボタンを使用すると、異常な動作が発生したり、障害が発生したりする可能性があります。

シングルサインオン機能は、リージョンとローカルのクラスタの間で接続するために使用できます。リージョンクラスタ Web UI ページには、[リモートクラスタの一覧表示/追加 (List/Add Remote clusters)] ページに [接続 (Connect)] ボタンがあり、これをクリックすると、アイコンに関連付けられているローカルクラスタに接続できます。ローカルクラスタへのシングルサインオン権限がある場合、接続によって関連するローカルサーバー管理ページ（または関連するサーバー設定の関連ページ）に移動します。これらの権限を持っていない場合、接続によってローカルクラスタのログインページに移動します。リージョンクラスタに戻るために、ローカルクラスタ ページのメイン ツールバーに [戻る (Return)] ボタンがあります。



- (注) 脆弱性を保護するために、Cookie に対する厳密な SameSite サポートが Cisco Prime Network Registrar 11.1 の Web UI に追加されました。これを制御する属性は、tomcat/conf フォルダの context.xml ファイルにあります。シングルサインオンのサポートが必要な場合は、tomcat/conf/context.xml ファイルで `<CookieProcessor sameSiteCookies="strict" />` の行を削除するか、`<CookieProcessor sameSiteCookies="none" />` に変更します。変更を有効にするためには、サーバーエージェントを再起動する必要があります。

ナビゲーションメニューの検索バーを使用すると、簡単にメニューを検索することができます。ナビゲーションメニューの右上隅にあるピンアイコンを使用すると、メニューのピン留め/ピン留め解除ができます。

Cisco Prime Network Registrar は頻繁に使用されるページ/メニューをお気に入りとして保存して、簡単にアクセスできる機能を提供します。ページ/メニューをお気に入りとして設定するには、目的のメニューに移動した後、[お気に入り (Favorite)] アイコン (ナビゲーションパスの横にある星形のアイコン (★)) をクリックして、適切な名前を入力し、[OK] をクリックします。お気に入りとして設定されているページ/メニューは、グローバルナビゲーションの [お気に入り (Favorites)] セクションに表示されます。お気に入りリストからメニューを削除するには、その横にある [削除 (Delete)] アイコンをクリックします。[設定の要約 (Configuration Summary)] ページは、デフォルトで [お気に入り (Favorites)] セクションに表示されます。



- (注) 任意のページの二重矢印アイコン (☒) をクリックすると、非表示のオプション/機能が表示されます。



- (注) [ナビゲーション (Navigation)] メニュー項目は、IPv4 または IPv6 のロール権限を持っているかどうかによって異なります。たとえば、addrblock-admin ロールの ipv6-management サブロールが割り当てられている場合、[設計 (Design)] メニューは **DHCPv4** と **DHCPv6** です。

## 続行する前のページ解決の待機

Web UI で実行される操作 (サーバー クラスタからのデータの再同期や複製など) は、操作が完了するまで、ブラウザに制御を戻さないという点で同期しています。これらの操作では、確

認メッセージが青色のテキストで表示されます。また、操作の進行中は、ブラウザに待機カーソルが表示されます。



**ヒント** Web UI の各操作が完了するまで待機してから、新しい操作を開始します。ブラウザに障害が発生した場合は、ブラウザを閉じて、再度開き、再度ログインします。ゾーン分散などの一部の操作は長時間かかることがあるため、操作が完了するまで待機する必要がある場合があります。

## Web UI での変更のコミット

ページの [保存 (Save)] をクリックするまで、入力したページのエントリーは実際にはコミットされません。[削除 (Delete)] アイコンを使用して、項目を削除できます。不要な削除を防ぐため、多くの場合は、[削除の確認 (Confirm Delete)] ダイアログボックスが表示されて、削除を確定またはキャンセルできます。

## ロールと属性の可視性の設定

メインページの上にあるツールバーの [設定 (Settings)] ドロップダウンリストをクリックして、ユーザー設定、セッション設定、ユーザー権限、またはデバッグ設定を変更します。

- 管理者のユーザー グループとロールを表示するには、[ユーザー設定 (User Preferences)] オプションを選択します。スーパーユーザーは、特別な種類の管理者です。（これらの管理者ロールを設定する方法の詳細については、[管理者の作成](#) を参照してください）。
- [セッション設定 (Session Settings)] を選択して [セッション設定 (Session Settings)] ダイアログを開き、[セッション Web UI モード (Session Web UI Mode)] ドロップダウンリストからモードを選択し、[セッション設定の変更 (Modify Session Settings)] をクリックします。モードアイコン (🔍) のドロップダウン矢印をクリックして、モードのリストを表示することもできます。リストから必要なモードを選択します。
  - [基本 (Basic)] - 基本ユーザー モード (プリセットの選択)。
  - [詳細 (Advanced)] - 通常の属性を公開する詳細ユーザー モード。
  - [エキスパート (Expert)] - 設定の微調整またはトラブルシューティングに関連する一連の属性を公開するエキスパートユーザー モード。ほとんどの場合、これらのエキスパート属性のデフォルト値を受け入れてください。Cisco Technical Assistance Center (TAC) のガイダンスなしで変更しないでください。エキスパートモードの各属性には、設定ページに警告アイコンが付いています。各ページは、エキスパートモードとして明確にマークされています。

## 属性の表示と変更

サーバー、ゾーン、スコープなどの Web UI ページの多くには、CLI を使用して設定できる属性設定が含まれています。（該当する CLI 名は属性名の下に表示されます。）属性は、その機能によってグループに分類され、主要な属性から先に表示され、設定されることが少ない属性はページの下の方に表示されます。

### 属性のグループ化とソート

多くの詳細モード Web UI ページでは、属性の表示をグループ順とアルファベット順で切り替えることができます。これらのページは、通常、デフォルトではグループビューで開くため、それぞれのカテゴリの属性を確認できます。ただし、属性の数が多い場合、属性をアルファベット順に表示する必要があります。[昇順ビューを表示 (Show A-Z View)] をクリックすると、ページの属性表示をアルファベット順に変更できます。[グループビューを表示 (Show Group View)] をクリックすると、属性の表示をグループ順に変更できます。[すべて展開 (Expand All)] または [すべて折りたたむ (Collapse All)] をクリックして、グループ表示の属性グループを展開または折り畳むこともできます。エキスパートモードでは、エキスパートモードの属性は、ページの下の方の Visibility=3 の見出しの下に個別にアルファベット順で表示され、すべてに警告アイコンが表示されます。

### 属性の変更

属性値を変更し、オプション属性の設定を解除することができます。多くの場合、これらの属性にはプリセット値があり、ページの [デフォルト (Default)] 列にリストされます。明示的な値はデフォルト値をオーバーライドしますが、デフォルト値は常にフォールバックです。デフォルト値がない場合、明示的な値を解除すると、その属性のすべての値が削除されます。

### 属性ヘルプの表示

属性のコンテキストヘルプについては、属性の名前をクリックして、別のポップアップ ウィンドウを開きます。

## 左側のナビゲーション ペイン

Web UI には、メインページの左側にナビゲーションペインもあります。このナビゲーションペインから、さまざまなカテゴリの一部として追加されたオブジェクトにアクセスできます。オブジェクトは表形式で表示されます。オブジェクトをクリックすると、メインページでプロパティを編集できます。

ペインのカテゴリの下に表示される各オブジェクトには、そのオブジェクトに関連付けられたクイックビューアイコンがあります。[クイックビュー (Quick View)] アイコンをクリックすると、オブジェクトに関する主要な詳細を示すダイアログボックスが開き、オブジェクトに関連付けられている主要なアクションを実行するためのリンク（存在する場合）が表示されません。

デフォルトでは、オブジェクトのリストは1列形式で表示されます。ただし、左側のペインに列を追加できます。オブジェクトの列を追加するには、左側のペインのオブジェクトテーブル



の上にある歯車アイコン (⚙) をクリックして、目的の列名を選択し、[閉じる (Close)] をクリックします。列形式を保存するには、[列形式の保存 (Save Column format)] ボタンをクリックします。

必要に応じてオブジェクトをフィルタリングするためのクイック フィルタ オプションと詳細 フィルタ オプションがあります。オブジェクトのクイック検索を実行するには、[クイック フィルタ (Quick Filter)] オプションを使用できます。[フィルタ (Filter)] アイコン (▼) をクリックするか、オブジェクトテーブルの上にある [表示 (Show)] ドロップダウン リストから [クイック フィルタ (Quick Filter)] を選択して、検索バーに検索文字列を入力します。オブジェクトは、検索条件に従ってリストされます。

また、[詳細フィルタ (Advanced Filter)] を使用してオブジェクトをフィルタリングすることもできます。[表示 (Show)] ドロップダウン リストから [詳細フィルタ (Advanced Filter)] を選択して、[詳細フィルタ (Advanced Filter)] ダイアログ ボックスで適切なフィルタと条件を設定し、[OK] をクリックします。[OK] をクリックすると、左側のペインのオブジェクト リストが、指定されたフィルタに従ってフィルタリングされます。フィルタを保存するには、[詳細フィルタ (Advanced Filter)] ダイアログ ボックスの [名前を付けて保存 (Save As)] をクリックして、[フィルタの保存 (Save Filter)] ダイアログ ボックスに適切な名前を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。保存されたフィルタ名が [表示 (Show)] ドロップダウン リストに表示され、その特定のオブジェクト リストに対していつでもこのフィルタを使用できます。[デフォルト フィルタの設定 (Set Default Filter)] ボタンをクリックすると、このフィルタをデフォルトのフィルタとして設定することもできます。


ユーザー定義フィルタは編集または削除できます。これを行うには、[表示 (Show)] ドロップダウン リストから [ユーザー定義フィルタの管理 (Manage User Defined Filters)] を選択し、[ユーザー定義フィルタの管理 (Manage User Defined Filters)] ダイアログ ボックスのフィルタ リストから必要なユーザー定義フィルタを選択して、必要に応じて [編集 (Edit)] または [削除 (Remove)] をクリックします。

## ヘルプ ページ

Web UI には、各ページのヘルプ テキストを表示する別のウィンドウが用意されています。ヘルプ ページには、次のものが用意されています。

- 開いているアプリケーション ページに応じた状況依存のヘルプ トピック。
- クリック可能な階層型のコンテンツとインデックス、および [お気に入り (Favorites)] 設定は、左側のペインのタブとして表示または非表示にすることができます。
- 検索機能。検索文字列を含むトピックのリストを返します。トピックは、検索文字列の表示頻度の順に並べられます。
- 開いたヘルプ ページの履歴を次へ、および元へ戻ることができます。
- 印刷機能。
- 用語集。


## ログアウト

Web UI からログアウトするには、[ログアウト (**Log Out**)] リンクをクリックします。アプリケーションページの右上隅にある歯車アイコン  の下に [ログアウト (**Log Out**)] があります。

## ローカル クラスタ Web UI

ローカル クラスタ Web UI は、Cisco Prime Network Registrar ユーザーとプロトコル サーバーの管理および構成への同時アクセスを提供します。これは、各要素または機能ごとに設定できる権限を持つ、サーバー全体でのきめ細かい管理を提供します。ローカル クラスタ Web UI は、次の 3 つのユーザー モードで使用できます。

- **基本モード (Basic Mode)** - DHCP スコープや DNS ゾーンなど、より頻繁に設定されるオブジェクトの設定をより簡単にします ([ローカルの基本メインメニューページ \(10 ページ\)](#) を参照)。
- **詳細モード (Advanced Mode)** - Cisco Prime Network Registrar Web UI の過去のユーザーが慣れている詳細な設定方法と機能強化を提供します ([ローカルの詳細なメインメニューページ \(12 ページ\)](#) を参照)。
- **エキスパートモード (Expert Mode)** (アイコンでマークされている) - エキスパートモードの詳細については、[ロールと属性の可視性の設定 \(7 ページ\)](#) を参照してください。

基本、詳細、またはエキスパート モードに変更するには、ページの右上にあるツールバーの [モード (Mode)] アイコン  のドロップダウン矢印をクリックします ([ローカルユーザーの環境設定の設定 \(13 ページ\)](#) を参照)。




(注) ローカル クラスタ マシンの IP アドレスを変更する場合は、[ローカル Web UI でのクラスタの構成 \(15 ページ\)](#) の注を参照してください。

## 関連項目

[Web ベースのユーザー インターフェイスの概要 \(3 ページ\)](#)

[リージョン クラスタ Web UI \(15 ページ\)](#)

## ローカルの基本メインメニューページ

ページの右上隅にあるツールバーで [基本 (Basic)] タブがアクティブになっている場合は、基本ユーザー モードになっていることを意味します。それ以外の場合は、モードアイコン  のドロップダウン矢印をクリックして、モードのリストを表示し、[基本 (Basic)] を選択します。

ページの左上隅にあるグローバル ナビゲーション アイコンをクリックすると、ナビゲーション メニューの下にサブメニュー項目が表示されます。ナビゲーション メニューの下にあるサブメニューを選択するには、ナビゲーションメニュー項目にカーソルを置きます。たとえば、カーソルを[操作 (Operate)]に置いて、[サーバーの管理 (Manage Servers)]を選択します。

また、必要なナビゲーションメニューの下にある任意のサブメニューを選択し、左側のペインから必要なサブメニュー ページに移動することもできます。たとえば、カーソルを[操作 (Operate)]に置いて、[タスクのスケジュール設定 (Schedule Tasks)]を選択します。[サーバーの管理 (Manage Servers)]、[クラスタの管理 (Manage Clusters)]、[タスクのスケジュール設定 (Schedule Tasks)]、および[変更ログの表示 (View Change Log)]へのリンクがある左側のペインとともに、[スケジュール済みタスクの一覧表示/追加 (List/Add Scheduled Tasks)] ページを表示できます。[サーバーの管理 (Manage Servers)] リンクをクリックすると、[サーバーの管理 (Manage Servers)] ページが表示されます。

ローカルの基本メインメニュー ページには、次のことができる機能があります。

- **ダッシュボードを開いて、システムの正常性をモニターする** - [操作 (Operate)] メニューを開き、[ダッシュボード (Dashboard)] をクリックします。「サーバー ステータス ダッシュボード」の章を参照してください。
- **Set up a basic configuration by using the Setup interview pages** - 上部にある [セットアップ (Setup)] アイコンをクリックして、[セットアップ (Setup)] ページのさまざまなタブを選択します。詳細については、『Cisco Prime Network Registrar 11.1 クイック スタート ガイド』を参照してください。
- **Administer users, tenants, encryption keys** - カーソルを [管理 (Administration)] メニュー (ユーザー アクセス オプションの場合) または [設計 (Design)] メニュー (セキュリティ (Security)] > [キー (Keys)] オプションの場合) に置きます。[管理者の管理](#) を参照してください。
- **Manage the Cisco Prime Network Registrar protocol servers** - カーソルを [操作 (Operate)] メニューに置き、[サーバーの管理 (Manage Servers)] または [タスクのスケジュール設定 (Schedule Tasks)] オプションを選択します。[サーバーとデータベースの保守](#) を参照してください。
- **Manage clusters** - カーソルを [操作 (Operate)] メニューに置き、[クラスタの管理 (Manage Clusters)] オプションを選択します。[サーバー クラスタの設定](#) を参照してください。
- **Configure DHCP** - カーソルを [設計 (Design)] メニューに置き、[DHCPの設定DHCP Settings]、[DHCPv4]、[DHCPv6] のオプションを選択します。『Cisco Prime Network Registrar 11.1 DHCP ユーザ ガイド』の「DHCP サーバーの管理」の章を参照してください。
- **Configure DNS** - カーソルを [設計 (Design)] メニューに置き、[キャッシュDNS (Cache DNS)] と [権威DNS (Auth DNS)] のオプションを選択します。カーソルを [展開 (Deploy)] メニューに置き、[DNS] と [DNSアップデート (DNS Updates)] のオプションを選択します。『Cisco Prime Network Registrar 11.1 権威およびキャッシング DNS ユーザ ガイド』の「ゾーンの管理」の項を参照してください。

- **Manage hosts in zones** - [設計 (Design) ]メニューから[権威DNS (Auth DNS) ]サブメニューの [ホスト (Hosts) ]を選択します。『Cisco Prime Network Registrar 11.1 権威およびキャッシング DNS ユーザ ガイド』の「ホストの管理」の項を参照してください。
- **Go to Advanced mode** - ページの右上隅にある [詳細 (Advanced) ]をクリックします。ローカルの詳細なメインメニューページ (12 ページ) を参照してください。

## ローカルの詳細なメインメニューページ

基本ユーザーのメインメニューページから詳細ユーザーモードに切り替えるには、ウィンドウの右上にあるモードアイコン (☰) のドロップダウン矢印をクリックして、モードのリストを表示し、[詳細 (Advanced) ]を選択します。これを行うと、もう1つのメインメニューページが開きますが、詳細ユーザーモード機能が表示されます。いつでも基本モードに戻ることができ、そのためには、ウィンドウの右上にあるモードアイコンの横にあるドロップダウン矢印をクリックして、[基本 (Basic) ]を選択します。

ローカルの詳細モードメインメニューページには、基本モードの Cisco Prime Network Registrar 機能に加えて、詳細機能も含まれています。

- **ダッシュボードを開いて、システムの正常性をモニターする** - [操作 (Operate) ]メニューを開き、[ダッシュボード (Dashboard) ]をクリックします。「サーバーステータスダッシュボード」の章を参照してください。
- **Administer users, tenants, groups, roles, regions, access control lists (ACLs)、および view change logs** - カーソルを [管理 (Administration) ]メニュー (ユーザーアクセスオプションの場合)、[設計 (Design) ]メニュー (ACL の場合)、または [操作 (Operate) ]メニュー (変更ログの場合) に置きます。管理者の管理 を参照してください。
- **Manage the Cisco Prime Network Registrar protocol servers** - カーソルを [操作 (Operate) ]メニューに置き、[サーバーの管理 (Manage Servers) ]または [タスクのスケジュール設定 (Schedule Tasks) ]オプションを選択します。サーバーとデータベースの保守 を参照してください。
- **Manage clusters** - カーソルを [操作 (Operate) ]メニューに置き、[クラスタの管理 (Manage Clusters) ]を選択します。サーバークラスタの設定 を参照してください。
- **Configure Routers**—- カーソルを [展開 (Deploy) ]メニューに置き、[ルータの設定 (Router Configuration) ]のオプションを選択します。ルータおよびルータ インターフェイスの管理 を参照してください。
- **Configure DHCPv4** - カーソルを [設計 (Design) ]メニューに置き、[DHCPv4] のオプションを選択します。『Cisco Prime Network Registrar 11.1 DHCP ユーザ ガイド』の「DHCPサーバーの管理」の章を参照してください。
- **Configure DHCPv6** - カーソルを [設計 (Design) ]メニューに置き、[DHCPv6] のオプションを選択します。『Cisco Prime Network Registrar 11.1 DHCP ユーザ ガイド』の「DHCPv6アドレス」の項を参照してください。

- **Configure DNS** - カーソルを [設計 (Design) ] メニューに置き、[キャッシュDNS (Cache DNS) ] と [権威DNS (Auth DNS) ] のオプションを選択します。カーソルを [展開 (Deploy) ] メニューに置き、[DNS] と [DNSアップデート (DNS Updates) ] のオプションを選択します。『Cisco Prime Network Registrar 11.1 権威およびキャッシング DNS ユーザ ガイド』の「ゾーンの管理」の項を参照してください。
- **Manage hosts in zones** - [設計 (Design) ] メニューから [権威DNS (Auth DNS) ] サブメニューの [ホスト (Hosts) ] を選択します。『Cisco Prime Network Registrar 11.1 権威およびキャッシング DNS ユーザ ガイド』の「ホストの管理」の項を参照してください。
- **Manage IPv4 address space** - カーソルを [設計 (Design) ] メニューに置き、[DHCPv4] のオプションを選択します。『Cisco Prime Network Registrar 11.1 DHCP ユーザ ガイド』の「アドレス空間の管理」の項を参照してください。
- **Configure IPv6 address space** - カーソルを [設計 (Design) ] メニューに置き、[DHCPv6] のオプションを選択します。『Cisco Prime Network Registrar 11.1 DHCP ユーザ ガイド』の「DHCPv6 アドレス」の項を参照してください。
- **基本モードに移動** - ページの右上隅にあるモードアイコン (☰) のドロップダウン矢印をクリックし、[基本 (Basic) ] を選択します。[ローカルの基本メインメニュー ページ \(10 ページ\)](#) を参照してください。

詳細ユーザー モード ページには、次の追加機能があります。

- **View the user role and group data for the logged-in user** - [ロールと属性の可視性の設定 \(7 ページ\)](#) を参照。
- **Set your preferred session settings** - [ロールと属性の可視性の設定 \(7 ページ\)](#) を参照。
- **Set server debugging** - プロトコル サーバーのデバッグ フラグをセットできます。これらの値は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) と通信するときに診断条件の下でのみ設定します。
- **Change your login administrator password** - [パスワードの管理](#) を参照。

## ローカル ユーザーの環境設定の設定

後続のユーザーセッションを通じて、WebUI設定の短いリストを維持できます。[基本 (Basic) ] と [詳細 (Advanced) ] または [エキスパート (Expert) ] モードのユーザー環境設定ページの唯一の違いは、詳細およびエキスパートモードでは、データ型とデフォルトをリストする追加の列があることです。

[設定 (Settings) ] ドロップダウンリストの [ユーザー環境設定 (User Preferences) ] に移動して、ユーザー環境設定を編集できます。設定するユーザー環境設定属性は、次のとおりです。

- **ユーザー名 (Username)** - ユーザー名の文字列。事前設定値は **admin** です。このフィールドを変更することはできません。
- **Web UI 一覧表示のページサイズ (Web UI list page size)** - リストに表示される行数によってページサイズを調整します。事前設定値は 10 行です。

- Web UI モード (**Web UI mode**) - 起動時のユーザー モード: 基本 (**Basic**)、詳細 (**Advanced**)、またはエキスパート (**Expert**) ([ロールと属性の可視性の設定 \(7 ページ\)](#) を参照)。設定されていない場合、モードは、デフォルトで CCM サーバー設定で設定されているものになります ([サーバーの管理](#) を参照)。
- Web UI ツリーのページ サイズ (**Web UI tree page size**) - Web UI に ツリー ビューを表示するときのページ サイズを調整します。
- Web UI ログのページ サイズ (**Web UI log page size**) - ログ ページのページ サイズを調整します。
- **Web UI レポート ページ サイズ (Web UI report page size)** - Web UI にレポート ページを表示するとき使用するページ サイズを調整します。
- **ビュー (Views)** - Web UI または CLI でのセッション起動時の DNS ビュー設定を指定します。
- **VPN** - Web UI または CLI でのセッション起動時の VPN 設定を指定します。
- **アラーム ポーリング間隔 (Alarm poll interval)** - アラームのポーリング間隔を調整します。つまり、Network Registrar がサーバーにアラーム データをポーリングする頻度です。
- **ホームページ (Homepage)** - お気に入りリストのページをアプリケーションのホームページとして設定します。デフォルトでは、[設定の概要 (**Configuration Summary**)] ページがホームページとして設定されています。選択したページをアプリケーションのホームページとして設定できます。これを行うには、目的のページを [お気に入り (**Favorites**)] リストに追加し ([Web UI のナビゲート \(5 ページ\)](#) を参照)、[ホームページ (**Homepage**)] ドロップダウンリストからページ名を選択して、[ユーザー環境設定の変更 (**Modify User Preferences**)] をクリックします。Web UI の左上隅にあるホーム アイコン (🏠) をクリックすると、ホームページに移動できます。
- **日付形式 (Date format)** - Web UI の日時の値の日付と時刻の形式を設定します。形式は、デフォルトのリストから選択するか、テキスト形式で、<日付のパターン><時間のパターン> として入力できます。

サポートされているパターンは、次のとおりです。

- 年: "yy"、"yyyy"
- 月: "M"、"MM"、"MMM"、"MMMM"
- 日: "d"、"dd"
- 時: "h"、"hh"、"H"、"HH"
- 分: "mm"
- 秒: "s"、"ss"
- 区切り文字: ":", "-", "/"

- **チャート X 軸タイムスタンプパターン (Chart X-Axis Timestamp Pattern)** - チャートを表示するときに X 軸にタイムスタンプを表示するために使用するパターンを指定します。
- **ツリー ノード表示 (Tree node display)** - ツリー ノードの初期表示オプションを指定します。この設定が [展開 (Expanded)] に設定され、ネストされた子ノードの数が 500 を超える場合、ツリーを表示するまでに数分かかることがあります。

ページサイズと Web UI モードの値を設定解除するには、属性の横にある [設定解除 (Unset?)] 列のチェック ボックスをオンにします。ユーザー環境設定を行った後、[ユーザー環境設定の変更 (Modify User Preferences)] をクリックします。

## ローカル Web UI でのクラスタの構成

ローカル Web UI で他のローカル Cisco Prime Network Registrar クラスタを定義できます。現在のマシン上のローカルクラスタは、**localhost** クラスタと呼ばれます。他のクラスタをセットアップするには、[操作 (Operate)] メニューから [クラスタの管理 (Manage Clusters)] を選択して、[クラスタのリスト/追加 (List/Add Clusters)] ページを開きます。**localhost** クラスタは、ローカルマシンの IP アドレスと SCP ポートを持つことに注意してください。

左側のペインで [クラスタの追加 (Add Cluster)] アイコンをクリックして、[クラスタの追加 (Add Cluster)] ページを開きます。少なくとも、リモートローカルクラスタの名前とアドレス (IPv4 または IPv6) を入力する必要があります。また、リモートクラスタの SCP ポート (1234 でない場合) とともに、管理者名とパスワードも入力する必要があります。[クラスタの追加 (Add Cluster)] をクリックします。クラスタを編集するには、左側の [クラスタ (Clusters)] ペインでクラスタ名をクリックして、[クラスタの編集 (Edit Cluster)] ページを開きます。セキュアアクセスモードを使用する場合は、[use-ssl as disabled]、[optional]、または [required] を選択します (optional はプリセット値です。required を選択した場合は、セキュリティライブラリがインストールされている必要があります)。変更を行い、[保存 (Save)] をクリックします。



- (注) ローカルクラスタマシンの IP アドレスを変更する場合は、**localhost** クラスタを変更して、[ipaddr] フィールドのアドレスを変更する必要があります。値をループバックアドレス (127.0.0.1) に設定しないでください。そうする場合には、DHCP フェールオーバーおよび高可用性 (HA) DNS 設定のために、メインサーバーとバックアップサーバーの実際の IP アドレスも設定する必要があります。

## リージョンクラスタ Web UI

リージョンクラスタ Web UI は、リージョンおよび中央管理タスクへの同時アクセスを提供します。これは、各要素または機能ごとに設定できる権限を持つ、サーバー全体でのきめ細かい管理を提供します。アプリケーションにログインすると、[ホーム (Home)] ページが表示されます。リージョンクラスタ管理については、[中央構成の管理](#) で説明しています。

## 関連項目

[Web ベースのユーザー インターフェイスの概要 \(3 ページ\)](#)

[ローカル クラスタ Web UI \(10 ページ\)](#)

## コマンドライン インターフェイス

Cisco Prime Network Registrar CLI (**nrcmd** プログラム) を使用して、ローカル クラスタ サーバーの動作を制御できます。設定可能なすべてのオプションを設定し、サーバーを起動および停止することもできます。



(注) CLI は、クラスタごとに最大 14 の同時ユーザーとプロセスによって、同時アクセスを提供します。



ヒント 詳細については、インストールディレクトリの /docs サブディレクトリの **CLIContents.html** ファイルを参照してください。

CLI の **nrcmd** プログラムは *install-path/usrbin* ディレクトリにあります。

ローカル クラスタで、適切なディレクトリにいる場合は、プロンプトで次のコマンドを使用します。

```
nrcmd [-C cluster[:port]] [-N user] [-P password] [-h] [-r] [-v] [-b < script | command]
nrcmd -C clustername:port -N username -P password [-L] -R
```

- **-C** - クラスタ名、プリセット値 **localhost**。別のクラスタに接続するために **nrcmd** を呼び出すときには、クラスタ名とともにポート番号を指定します。前の例を参照してください。  
クラスタがデフォルトの SCP ポート (ローカルの場合は 1234、リージョンの場合は 1244) を使用する場合、ポート番号はオプションです。使用されるポートがデフォルトのポートではない場合は、必ずポート番号を含めてください。
- **-N** - ユーザー名。WebUI に初めてログインしたときに作成したユーザー名を入力する必要があります。
- **-P** - ユーザーパスワード。ユーザー名に対して作成したパスワードを入力する必要があります。
- **-L** - ローカル クラスタ CLI にアクセスします。
- **-R** - リージョン クラスタ CLI にアクセスします。
- **-b < script** - **nrcmd** コマンドのスクリプトファイルを処理します。
- **-h** - このヘルプ テキストを表示します。



- **-r** - 読み取り専用ユーザーとしてログインします。
- **-R** - リージョンに接続します。
- **-v** (または **-vv**) - プログラムのバージョンを報告して終了します。
- **-V** - セッションの可視性を指定します。



(注) クラスタのデフォルトは、指定されていない場合は **localhost** です。



ヒント その他のコマンド オプションについては、/doc の **CLIGuide.html** ファイルを参照してください。



(注) ローカル クラスタ マシンの IP アドレスを変更する場合は、**localhost** クラスタを変更して、*ipaddress* 属性のアドレスを変更する必要があります。値を127.0.0.1に設定しないでください。

出力をファイルに送信することもできます。

```
nrcmd> session log filename
```

次に例を示します。

DHCP サーバー上のリースをファイル (leases.txt) に送信するには、次のコマンドを使用します。

```
nrcmd> session log leases.txt  
nrcmd> lease list
```



(注) 以前に開いたファイルを閉じるには、**session log** (ファイル名なし) を使用します。これにより、すべてのファイルへの出力の書き込みが停止します。

クラスタから切断するには、**exit** を使用します。

```
nrcmd> exit
```



ヒント CLI は、複数のユーザー ログインと連携して動作します。クラスタ ロック メッセージを受信した場合は、ロックしているユーザーを特定し、その人と問題を話し合います。(複数のユーザー (5 ページ) を参照。)

## REST API

Cisco Prime Network Registrar REST API は、HTTP クライアントで管理できる一連のリソースへのアクセスを提供します。Web サービスが有効になっている場合、リージョンサーバーとローカル DHCP、DNS、およびキャッシュ DNS サーバーでサポートされます。

Cisco Prime Network Registrar で最も一般的に使用されるオブジェクトに関する情報を取得するために使用する REST メソッドとエンドポイントについて知るには、『*Cisco Prime Network Registrar 11.1 REST APIs Quick Start Guide*』を参照してください。Cisco Prime Network Registrar でサポートされる REST API の詳細については、『*Cisco Prime Network Registrar 11.1 REST APIs Reference Guide*』を参照してください。

11.1 以降、Cisco Prime Network Registrar は、ほとんどのシナリオをカバーする REST API の Swagger ベースのドキュメントをサポートしています。ただし、すべての REST API 要求、特にアクションの特殊なケースをカバーしているわけではありません。

## Prime Network Registrar でのグローバル検索

Prime Network Registrar のローカルおよびリージョン Web UI は、ローカルクラスタで使用可能な IP アドレスまたは DNS 名のグローバル検索機能も提供します。検索インターフェイス要素は、メインページの右上隅にあります。



- (注) 検索インターフェイス要素を表示し、IP アドレスと DNS 名の検索を実行するには、Cisco Prime Network Registrar が DHCP または DNS を使用してライセンスされている必要があります。また、ローカルクラスタに対して DHCP または DNS サービスが有効になっている必要があります (リージョン Web UI の [リモートクラスタの一覧表示/追加 (List/Add Remote Clusters)] ページで)。

次の表に、さまざまなシナリオでの一般的な検索結果を示します。

表 1: 一般的な検索結果

検索対象	アクティブなライセンスとサービス	検索結果
IPv4 アドレス	DHCP のみ	最も近く一致するスコープ、スコープのリース、またはスコープの予約
IPv4 アドレスまたは DNS FQDN	DNS のみ	関連するゾーンまたはリソースレコード

検索対象	アクティブなライセンスとサービス	検索結果
IPv6 アドレス	DHCP のみ	最も近く一致するプレフィックス、プレフィックスのリース、またはプレフィックス予約
IPv6 アドレスまたは DNS FQDN	DNS のみ	関連するゾーンまたはリソースレコード
IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS FQDN	DHCP と DNS の両方	アドレスのタイプに基づいて、上記のすべて



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。